

## 平成19年度実施事業 事業評価シート

<b>事業名:</b>	日本海さけ・ます増殖事業協会負担金	3-2
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	4
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	企画経済部農林水産課	直通電話	72-3164
担当部長	佐々木 隆哉	担当課長	配野 秀樹
		担当者	藤原 信幸

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	さけ・ます増殖事業を実施する「日本海さけ・ます増殖事業協会」(石狩・後志・檜山の3支庁で組織)に対し負担金を交付する。 ・均等割 1,500千円 ・漁獲高割 7,631千円(石狩2,289千円、厚田3,427千円、浜益1,915千円)		
(2)事業開始年度	平成11年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ	元気で活力あるまち	
	施策項目(大)	水産業の振興	
	施策項目(小)	つくり育てる水産業の確立と後継者などの育成	
	施策コード	30201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	さけ・ます資源の維持と計画的な漁業生産により、漁家経営の安定化を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	さけ・ます資源の増大を図る。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	協会に対し負担金を交付する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	石狩湾ニシン資源栽培漁業振興協議会負担金
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	2,789	9,131	9,131	8,131
(2)その他の間接経費(千円)			10	10
(3)従事正職員の人件費(千円)	1,813	1,740	1,884	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	4,602	10,871	11,025	
事務に従事した正職員延べ人数	0.21	0.21	0.21	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
入	区 分				支	区 分				
	H17	H18	H19	H20予算		H17	H18	H19	H20予算	
入	市補助金等(A)	2,789	9,131	9,131	8,131	事業活動費	352,003	331,259	354,189	374,920
	事業活動収入費	343,301	447,628	240,546	304,745	当期剰余金	14,056	139,556	35,044	
	繰越金	19,969	14,056	139,556	35,044					
	計(B)	366,059	470,815	389,233	347,920					
	(A/B)	0.8	1.9	2.3	2.3	計	366,059	470,815	389,233	374,920

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)						
活動指標名		H17	H18	H19	H20	
稚魚放流数(匹)	石狩川 30,000千匹	35,000	35,000	35,000	35,000	/
	厚田川 2,000千匹	35,000	35,000	35,000	35,000	
	浜益川 3,000千匹	100.0	100.0	100.0	100.0	
	目標値					/
	実績値					
	達成率					
	目標値					/
	実績値					
	達成率					

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
漁獲量 (トン)	目標値	2,800	2,470	2,080	1,450
	実績値	2,308	1,908	968	
	達成率	82.4	77.2	46.5	
漁獲高 (千円)	目標値	588,000	568,100	665,600	551,000
	実績値	573,445	668,416	368,003	
	達成率	97.5	117.7	55.3	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性			
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	
(2) 効率性			
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(3) 公平性			
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(4) 有効性			
ア 施策との関連	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	1	
イ 成果	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
ウ 事業内容	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い	2	
(1)～(4)の評価ポイント合計			
総合評価の参考にしてください。			
			13

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	市基幹産業のさけ漁は近年減少が続いているが、3市村の合併後も引き続き主要魚種であり、同事業協会が行っている捕獲から放流までの事業は重要なものとなっている。	
(2) 今後の方向性・課題		今後も増殖事業は継続するが、負担金額が数年固定されていることから、同協会に事業費の削減を含めた見直しの検討を求めていく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	課長評価を了承する	
(2) 今後の方向性・課題		協会に対して事業費の見直しを継続的に求めていく必要がある。21年度に向けては、石狩湾漁協との間で、双方が納得できるような均等割の負担のあり方を見出さなければならない。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
均等割 1,500千円を1,000千円に減額する。			